



社会福祉法人 日本児童育成園

保育士

professional NO.127

前進あるのみ

社会福祉法人 日本児童育成園

住所 岐阜市長良森町1-11

URL <http://ikuseien.or.jp/>

勤務時間 9:00~18:00

休日 週休2日(平日・日祝)

アンピ
ジャス的

なるためには

- 必要資格 / 必須ではないが保育士資格があるとよい。
- 主な進路 / 大学や専門学校などの保育士養成施設を卒業すると同時に保育士資格を取得するか、高校卒業後2年以上の実務経験を積んだ後、国家試験に合格する必要があります。

—学生時代

「高校生活について教えてください。」

「正直あまり勉強は一生懸命ではありませんでした(笑)。部活動が盛んな校風でしたので、バスケットボール部に所属していました。身だしなみなど、結構厳しかったですね。3年間続けるなかで、良い仲間ができました。僕は工芸科だったので、当初は工場などの製造業を進路に考えていました。しかし製造業のインターーンシップを経て、もっと別の道を選んでみたいと考えるようになりました。友人や家族に相談したところ、「自分の好きなことをやってみなさい」と後押しを受け、昔から子どもと遊ぶことが好きだったので、いかせる仕事を探したところ、幼児教育という進路を見つけました。

—大学生活で学んだことは?

オープンキャンパスで実際の授業の様子や先輩たちの声を知ることができ、特に関心をもった東海学院大学短期大学部幼児教育学科に進学しました。子どもの発達に合わせた遊びや保育プランを考えたり、保育園などで必要なピアノもゼロから学びました。幼稚園、保育園、児童福祉施設それぞれの実習を通して、現場の先生たちの動きや言葉などを学びました。学ぶことも多かったです。すべてが初めての経験でしたが、とても充実した大学生活をおくりました。

—現在の職業に就いたきっかけは?

「大学時代にできた、ひとりの友人がいました。」



—やりがい

朝から晩まで、生活を共にするの子どもたちの成長が、目に見え分かることが一番のやりがいであります。スタッフからも子どもたちからも安心して頼つてもらえる、柱のような存在になつていきたいと思います。

—なるためには

子どもたちのことが好きであることが第一条件だと思います。常に視野を広くもち、柔軟に考えられる心の余裕をもつことが大事ですね。「お忙しいところ、ありがとうございます」と思っています。

—仕事内容を教えてください。

当施設は120年以上の歴史があり、様々な問題を抱えた3歳から18歳まで、70名ほどが入所しています。家族のように彼らと生活を共にして、ケアの方針や目標を決めて支援していくことが主な仕事です。家庭以外にも学校行事に参加することもあります。児童の親御さんとも、これからをどうしていくのか、家庭復帰や子どもの自立にむけて話し合いながらケアをしていきます。

—心がけていることは?

同じ目線に立って、その子に合ったケアプランを考えるよう、心がけています。彼らが家族同然に安心して過ごせる環境づくりもとても大切だと思っています。

おかだ たくと
岡田 拓人さん

平成フ年生まれ 東海学院大学短期大学部卒業

•出身高校 関市立関商工高等学校

18歳 家族や友達の後押しをきっかけに幼児教育の道を志す。

20歳 保育士資格を取得し、当施設に就職。充実した日々。

22歳 3年目になり、仕事にも慣れた。頼られる人になるべく、奮闘中。





居宅介護支援事業所 株式会社 いろり

ケアマネージャー

professional NO.128

野望を 持って！

居宅介護支援事業所 株式会社 いろり

住所 美濃市蕨生2061
勤務時間 8:30~17:30
休日 土曜日・日曜日・祝日（一部土曜日出勤有り）

アンビ
シャス的

なるためには

- 必要資格 / 介護支援専門員（ケアマネージャー）
- 主な進路 / まずは、ボランティアなどで現場を知り、資格取得には、大学や専門学校への進学が近道だと思います。その後、実務経験を5年以上積み、資格を取得します。

— 学生時代 —

「高校生活について教えてください。」

「小、中学校まで一生懸命だった野球を、高校でも続けたいと思い、その時期に名監督がいると聞いていた

武義高等学校に進学しました。休みなく朝から晩まで野球づけの毎日を送りました。ユニフォームが制服しか着ていなかつたようになります（笑）。練習後も、仲間と一緒にバッティングセンターに行ったり、遅くまで語り合ったり、練習はとても厳しかったですが、充実した日々をおくりました。

「福祉に興味をもつたきっかけは？」

部活動を引退したころに、介護職員

だつた母親から介護施設でのボラ

ンティアをすすめられました。実際に施設で働いてみると、臨機応変な

対応が必要で、コミュニケーション

がとても大切な仕事なんだと知りました。誰かのためになっている実

感とともに、「仕事の楽しさ」を知りました。それがきっかけで、福祉の道に進む決意をしました。

「大学で学んだことは？」

総合的な福祉の知識、ノウハウを学びたいと思い、できたばかりの中部

学院大学・人間福祉学部に進学し

ました。資格取得のための専門的な授業や実習、現場で働くための具体的な学習をしました。授業以外でも老人ホームのボランティアに参加し、大学では学ぶことができない現場の介護を体験しました。同じ夢をもつた仲間に出会えたことは大きな財産ですね。

「仕事について」

ボランティアを行っていた老人ホームに就職し8年ほどお世話をになりました。施設の立ち上げや地域活動など、様々な経験を積ませていただきました。もともと、自分の会社や施設をもちたいという思いがあり、独立する上で必要なことも勉強させてもらいました。その後、新しい介護事業の立ち上げに関わるなかで独立の準備を進め、「いろり」を立ち上げました。

「仕事内容を教えてください。」

ケアマネージャーの仕事とは、利用者様本人や、その家族のライフスタイルに合わせた介護プランをつく

ることが主な仕事です。そのほかにも、デイサービスの施設を運営して

おり、高齢者の入浴や食事の介助、リハビリやレクリエーションなどのサービスを日帰りで提供しています。

「心がけていることは？」

我々の施設は、いわゆる介護施設ではなく、家族や友人の家に遊びに行

くような気楽で楽しく、笑い声の絶えない場所でありたいですね。

— やりがい —

我々の提案した介護プランによつて、利用者様の問題が改善したときはとてもうれしいです。地域の方々のために仕事ができている、ということ何よりのやりがいです。

「夢や目標はありますか？」



「なるためには」

ボランティアなどを通し、まずは実際に経験してみるといいですね。「お忙しいところ、ありがとうございました。」

立木 高廣さん

昭和54年生まれ 中部学院大学人間福祉学部卒業

• 出身高校 岐阜県立武義高等学校

18歳 部活を引退。母のすすめで初めてボランティアに参加する。
32歳 ケアマネージャーの資格を取得し、「いろり」を起業する。
37歳 次なる野望を胸に、スタッフとともに日々奮闘中。





株式会社 大垣ケーブルテレビ

ケーブルテレビ営業

professional NO.129

まず やってみよう!!

株式会社 大垣ケーブルテレビ

住所 大垣市中野町3-31

URL <https://www.ogaki-tv.co.jp/>

勤務時間 9:00~18:00

休日 週休2日(平日・日祝)

なるためには

- 必要資格 / 大学卒業資格
- 主な進路 / 特に主な進路はありませんが、コミュニケーション能力や一般教養を高めておくと良いでしょう。

ー「学生時代
ーどのような高校生活を送っていましたか？」

小学校3年生から高校3年までの10年間、野球一筋で過ごしてきた学校生活でした。毎日の練習は大変でしたが、長く苦楽とともに仲間たちとは家族のようなとても強い絆で結びつきました。ともに高めあうなかで、生涯続くであろう大切な仲間ができました。

ー「大学生活で学んだことを教えてください。」

高校卒業まで野球一筋だったので、大学からは心機一転、新しいことにどんどん挑戦していきました。フットサルのサークルに参加したり、仲間とスノーボードに行ったり、体を動かすことが好きでしたね。旅行にも多く出かけました。そのなかでもアメリカのロサンゼルスへのひとり旅が思い出深いですね。日本とはまったく違う環境や文化に触れる体験は、自分の価値観を大きく変える大冒険になりました。外を見ることで逆に地元の良さを再発見する、とても良い経験となりました。

ー「仕事について
ー現在の職業に就いた経緯を教えてください。」

仕事を探す上で、地元のためになったことがしたいという思いが強くありました。そこから一番身近で馴染みのあるケーブルテレビに興味をもち、弊社に就職、営業部へ配属となりました。今年で3年目、お客様のため奮闘する毎日です。



ー「夢や目標はありますか？」

3年目になると、人に教えることや自分で考えて行動しなければならないことが増えました。広い視野で新しい情報を取り入れ、様々な要望に応えられるようになりたいです。

ー「なるためには

営業の仕事は、会話の中からお客様のお困りの点や何が必要なのかを引き出すことが大切です。人と関わることを避けずに積極的に話ができる人がいいですね。

ー「仕事内容を教えてください。」

弊社は25周年を迎え、地域に密着したテレビ番組から、固定電話やネット回線など情報と生活をつなげる会社です。私の仕事は、各サービスの紹介や加入説明といった営業活動、お客様からのお問い合わせに対してもサポートが主な仕事になります。

大垣市内に限らず、西濃地区全体の広い範囲で仕事をしています。

ー「仕事をする上で、心がけていることを教えてください。」

一つの目標や課題に対して、それをチームで共有し解決する、チームプレイの重要さを常に感じています。

初めから終わりまで、様々な人との関わりと、助け合いを実感することばかりです。

ー「やりがい
ーこの仕事をやって良かったと思うことは？」

自分の仕事を精一杯できたとき、お客様からいたたくな、「ありがとう」、「助かったよ」の声が何よりうれしいです。みんなで作り上げた企画が成果に結びついたときも、達成感がありますね。

たけなか りょうすけ
竹中 亮介さん

平成3年生まれ 中京大学卒業

・出身高校 岐阜県立大垣西高等学校

19歳 アメリカへのひとり旅。異国の文化に触れて地元の良さに気づく。

20歳

22歳 (株)大垣ケーブルテレビに入社、営業部に配属となる。

25歳 入社3年目、後輩ができる自分の行動に責任が伴うが毎日が充実している。





にしわき歯科

歯科衛生士

professional NO.130

大変なときこそ
大きく変われる!!

にしづき歯科

住所 不破郡垂井町東神田3-39
URL <http://www.nishiwaki-shika.com/>
勤務時間 8:30～19:00
休日 木曜日・日曜日・祝日（振替あり）

- 必要資格** / 歯科衛生士免許
- 主な進路** / 短大などで歯科衛生士について学ぶ。その後、国資校を取得して、クリニック等に就職する。

「学生時代」

一どのような高校生活を送っていましたか？

幼いころから走ることが好きで、中学校からはスポーツクラブで長距離走に取り組みました。その後スポーツ推薦で進んだ高校では駅伝部に所属しました。ハードな練習ばかりで辞めたいと思っても自分に負けの嫌なほどの負けず嫌いな性格で妥協することなく日々の練習に明け暮れました。それだけ一生懸命だったからこそ、2年生の時点でランプに陥り、陸上選手への道をあきらめたときはとても悔しい思いをしたことを覚えています。それでも友達や部活の仲間と過ごした高校生活はかけがえのない楽しい時間になりました。

一短期大学で学んだことは？

進路選択を悩んでいた時期に母親から歯科衛生士をすすめられ、指定校推薦で大垣女子短期大学に入学しました。短大では現場で必要な知識や技術を多く学び、初の実習では患者さんから「ありがとう」の感謝の言葉や応援をいただきました。この仕事で働く上でのやりがいを感じ、頑張ろうと思えた瞬間でした。

一仕事について

「現在の職業に就いた経緯を教えてください。」

短大を卒業後、当院に就職して現在1年目になります。実習で不足していた実務経験を補うため、いまは現場でたたき上げていく毎日です。

「仕事内容を教えてください。」

いをしたことを覚えています。それでも友達や部活の仲間と過ごした高校生活はかけがえのない楽しい時間になりました。

進路選択を悩んでいた時期に母親から歯科衛生士をすすめられ、指定校推薦で大垣女子短期大学に入学しました。短大では現場で必要な知識や技術を多く学び、初の実習では患者さんから「ありがとう」の感謝の言葉や応援をいただきました。この仕事で働く上でのやりがいを感じ、頑張ろうと思えた瞬間でした。

――仕事について

――現在の職業に就いた経緯を教えてください。

短大を卒業後、当院に就職して現在1年目になります。実習で不足していた実務経験を補うため、いまは現場でたたき上げていく毎日です。

メンテナンスや治療を通じて患者さんに正しい知識をもつてもらい、口腔内環境をより健康に導き、よろこびと一緒に感じられる瞬間がとてもうれしいですね。

「仕事をする上で、心かけていることを教えてください。」
お口の健康状態は、一人ひとり違います。直接ふれて治療する責任をもって、患者さんのお口の中だけでなく、生活背景にも目を向けることで、信頼関係を築き、患者さんのQOLの向上に努めています。

歯科衛生士は、患者さんのお口の健康や歯の治療のために直接ふれて支えていく責任のある仕事です。大きく分けて、フッ素塗布や口腔内の清掃を行つ予防処置、歯磨き指導などの保健指導、治療や外科手術の介助といった診療補助などが主な業務となります。お口から全身の健康を導く、パートナーのような職業



この充実感と、患者さんにより良い医療を提供することとのよろこびを感じています。今後さらに専門性を高め、地域の皆さんの健康に貢献できるよう仕事に励みたいですね。

——なるためには

この仕事は歯科衛生士の資格が必須となるので、短大等で専門知識を学び、国家試験に合格する必要があります。患者さんと話すことで、どうが悪いのかを見つけていけるように積極的にコミュニケーションをとることも大切です。

——お忙しいところ、ありがとうございました。

なるせ まほ
成瀬 真萌 さむ

平成6年生まれ 大垣女子短期大学歯科衛生学科卒業

・出身高校 私立大垣日本大学高等学校
17 進路を考えるなか、母親から歯科衛

	17歳	生士について教えてもらった。
	20歳	初めての実習、患者さんから初めての「ありがとう」の言葉をもらう。

22歳 一人前の歯科衛生士をめざし、日々奮闘中。

[View Details](#) | [Edit](#) | [Delete](#)

BRUNSWICK COLLEGE OF BUSINESS ADMINISTRATION



伏屋社会保険労務士事務所

社会保険労務士

professional NO.131

出会いも大切に！

伏屋社会保険労務士事務所

住所 岐阜市南錦4-7

URL <http://www.fuseya.co.jp/>

勤務時間 9:00~17:00

休日 土曜日・日曜日・祝日

アンピ
ジャス的

なるためには

- 必要資格 / 社会保険労務士
- 主な進路 / 大学・短期大学・高等専門学校を卒業し、社会保険労務士国家試験に合格する必要があります。

ー学生時代
ーどのような高校生活を送っていましたか？

小中学校は生徒会などに所属しており、どちらかといえば人の上に立ちリーダーシップをとることが多かったですね。目立ちたがりだったんですかね(笑)。高校3年間は野球部に所属しており、楽しかったこと、辛かったこと、挫折も味わい、青春時代を謳歌しました。みんな一生懸命だったからこそ、そのときの仲間は一生の宝になっています。

ー大学生活で学んだことは？

将来の視野を広げるために、名古屋学院大学商学部に進学しました。家計が厳しかったこともあり、まとまった休みにアルバイトなどを掛けもち、学費は全額自分で工面しました。大変でしたが、ある意味そのおかげで自立できたのだと思いません。とても良い経験でした。大学では、商学部に所属し、ビジネスについて基礎から応用まで総合的に学びました。民法や簿記、経営哲学は、いまだ役に立っています。

ー仕事について

ー現在の職業に就いた経緯を教えてください。

大学在学中に、役者の道を真剣に志し、卒業後すぐに上京して、活動を続けました。5年ほど経ったとき、色々な都合で地元に戻ることになりました。役者の道をあきらめました。そのころ、社会保険労務士をしていた尊敬する叔父から「帰省したならうちで働かないか?」と誘われたこと

んがいきいきと、「元気を取り戻していく様子を肌で感じるときや、お客様から直接「ありがとうございます」との言葉をいただけたときは、本当にうれしいですね。

ーなるためには

事業主でなければ必須ではありませんが、社会保険労務士になるには、国家試験に合格する必要があります。特定社会保険労務士・社会保険労務士の二つがあり、合格率は7%ほど。情熱を胸に、頑張ってください。

ーお忙しいところ、ありがとうございます。



犬塚 真一さん

昭和52年生まれ 名古屋学院大学商学部卒業

・出身高校 岐阜県瑞浪高等学校

22歳 大学卒業後、役者を夢見て上京。



27歳

地元にもどり、伏屋社会保険労務士事務所に入所。

39歳

お客様に育てられながら、地域密着の社労士として日々奮闘中!





西濃印刷株式会社

印刷会社営業

professional NO.132

自分らしさを大切に。

西濃印刷株式会社

住所 岐阜市七軒町15
URL <http://www.seinou.co.jp/>
勤務時間 8:30~17:30
休日 週休2日（土曜日・日曜日・祝日）

なるためには

- 必要資格 / 特に必要な資格はありません。
- 主な進路 / 特に決まった進路はありませんが、高校生のうちにからコミュニケーション能力や、一般的な教養は身につけておくと良いでしょう。

——学生時代
「どのような高校生活を送っていましたか？」
高校ではアーチェリー部に所属していました。県内でアーチェリー部がある学校は珍しかったので、よく大会に出場することもありました。すごく強かつたわけではありませんが、それなりに楽しく、お陰で仲間にも恵まれ、充実した高校生活をおくることができました。大学入試の時点では将来やりたいことが定まっていたわけではなくたので、広く経済のこと、商売や世の中の仕組みを学ぼうと、指定校推薦で愛知学院大学商学部に進みました。

——大学生活で学んだことは?
わたしがいた商学部は、ビジネスに関わる様々な事柄を学ぶ学部です。そこで流通マーケティング、金融、会計など、基礎的なことから応用まで幅広く学びました。勉強以外にも社会に出る前の期間としていろいろな経験をしましたね。充実した大学生活をくりました。

仕事について

「現在の職業に就いた経緯を教えてください。
子どものころから絵を描くことが得意で、さらに大学で学んだことをいかせる仕事がしたいと思っていました。就職ガイダンスに参加したとき、印刷や編集・デザインに携わる仕事が、自分の方向性に近いと感じました。生まれ育った地元で「地域のためになる仕事がしたい！」と思つていたので、地元岐阜で実績です。また、我々の仕事が誰かの役

——仕事について
わたしがいた商学部は、ビジネスに関わる様々な事柄を学ぶ学部です。そこで流通マーケティング、金融、会計など、基礎的なことから応用まで幅広く学びました。勉強以外にも社会に出る前の期間としていろいろな経験をしましたね。充実した大学生活をくりました。

——仕事内容を教えてください。
わたしは、お客様と現場をつなぐ営業部に所属しています。地域の活性化を目的とした自社出版の情報誌「aun」の営業も担当しています。わたしは、お客様と現場をつなぐ営業部に所属しています。地域の活性化を目的とした自社出版の情報誌「aun」の営業も担当しています。

——やりがい
わたしは直接お客様と接する機会が多いので、意図を汲み取り、どうしたら効果が上がるか、期待に応えられるかをいつも考えます。「西濃印刷に頼んで良かった!」と言つていただけたことが、なによりうれしい、いちばんやりがいを感じるときです。また、我々の仕事が誰かの役



平井 裕さん

昭和53年生まれ 愛知学院大学商学部卒業

• 出身高校 岐阜県立大垣西高等学校

23歳 地域のために!と志しを胸に、西濃印刷株式会社に入社。



28歳

官公庁担当から民間企業担当へ。
新しい仕事で、次のステージへ。

38歳

15年間この会社一筋。仕事の責任も大きくなり、日々成長!



に立ち、地域の活性化に貢献できればうれしいですね。
印刷会社に入るために、特に必要な資格や、決まった進路はありません。弊社に例えると、大きく分けて営業、企画・デザイン、印刷などの仕事に分かれています。入社してから現場で学ぶことがほとんどですが、営業の仕事はコミュニケーション能力が必要不可欠です。世の中の流れを知ることや、細やかな心づかいなども必要ですね。

——なるためには
いろいろな業種の方々と関わりながら仕事をさせていただいています。具体的にはチラシやポスター、カタログ、書籍などの印刷物はもちろん、情報誌の企画・編集、WEBサイトの制作、商品パッケージのデザインなども手がけています。その中でわたしは、お客様と現場をつなぐ営業部に所属しています。地域の活性化を目的とした自社出版の情報誌「aun」の営業も担当しています。

——お忙しいところ、ありがとうございました。



社会福祉法人 岐阜県社会福祉協議会

社会福祉士

professional NO.133

一日一日のつみ重ねが
今の自分につながる

社会福祉法人 岐阜県社会福祉協議会

住所 岐阜市下奈良2-2-1 岐阜県福祉・農業会館内

URL <http://www.winc.or.jp/>

勤務時間 8:30~17:15

休日 週休2日(土曜日・日曜日・祝日)年末年始

アンピ
シャス的

なるためには

- 必要資格 / 社会福祉士など(組織によって異なる)
- 主な進路 / 各法人の採用試験を受ける必要があります。大学や短期大学などで指定科目を履修する、指定施設で実務を5年以上経験するなどして、国家試験の受験資格が得られます。

――学生時代――
「高校生活について教えてください。」
中学生のとき職場体験で、高齢者のための福祉施設に行きました。利用者の方々を手助けする職員さんの姿に憧れ、福祉科のある大垣桜高等学校に進みました。高校では、同じ道を志す仲間とともに介護の知識と技術の両方を学びました。2年次からは福祉施設にて実習を行いましたが、体力面の自信のなさを痛感し、「自分はこのまま、この職種でやっていけるのか」と不安になりました。そのとき、先生から「福祉の仕事は幅が広く介護以外の仕事もあるんだよ」と教えていただき、調べるうちに、さらに興味が増していました。
――大学生活で学んだこと――
「大学生活で学んだことは?」
社会福祉士の資格取得に向けた勉強ができる、自宅から通うことができる、という条件で大学を探しました。何度かオープンキャンパスに足を運び、岐阜経済大学・経済学部・コミュニケーション福祉政策学科(現・公共政策学科)に進学しました。大学では、地域福祉や福祉教育にも関心をもち、「マイスター俱楽部」という学生主体の研究室で、高校生と調査をしたり、小学生と福祉体験を行いました。
――いまの職に就いたきっかけは?――
「いまの職に就いたきっかけは?」
大学3年生のとき、岐阜県社会福祉協議会にて実習させていただきました。その経験から、幅広い福祉の仕事がしたいと思い、大学卒業後、当

高校生活について教えてください。
中学生のとき職場体験で、高齢者のための福祉施設に行きました。利用者の方々を手助けする職員さんの姿に憧れ、福祉科のある大垣桜高等学校に進みました。高校では、同じ道を志す仲間とともに介護の知識と技術の両方を学びました。2年次からは福祉施設にて実習を行いましたが、体力面の自信のなさを痛感し、「自分はこのまま、この職種でやっていけるのか」と不安になりました。そのとき、先生から「福祉の仕事は幅が広く介護以外の仕事もあるんだよ」と教えていただき、調べるうちに、さらに興味が増していました。
――大学生活で学んだことは?――
社会福祉士の資格取得に向けた勉強ができる、自宅から通うことができる、という条件で大学を探しました。何度かオープンキャンパスに足を運び、岐阜経済大学・経済学部・コミュニケーション福祉政策学科(現・公共政策学科)に進学しました。大学では、地域福祉や福祉教育にも関心をもち、「マイスター俱楽部」という学生主体の研究室で、高校生と調査をしたり、小学生と福祉体験を行いました。
――いまの職に就いたきっかけは?――
「いまの職に就いたきっかけは?」
大学3年生のとき、岐阜県社会福祉協議会にて実習させていただきました。その経験から、幅広い福祉の仕事がしたいと思い、大学卒業後、当

――仕事内容を教えてください。――

社会福祉協議会は「地域福祉の推進を図ること」を目的とした団体です。

地域の様々な課題や問題などを、地域のみなさんと一緒に協議し、事業を実施します。地域の見守りや生活の中の困りごとを支える仕組みをつくったり、様々な福祉をはじめとする関係機関とのネットワークづくりを大切にしながら取り組みを進めています。大好きなこの地域を、いつまでも安心して暮らせる環境にしていきたいですね。

――仕事について――

社会福祉協議会は、各市町村にあります。みなさん自身など、この

地域のボランティア活動などに参加してみる、この仕事は何をするのか、その一部が見えるかもしれません。

――なるためには――
社会福祉協議会は、各市町村にあります。みなさん自身など、この地域のボランティア活動などに参加してみる、この仕事は何をするのか、その一部が見えるかもしれません。

――お忙しいところ、ありがとうございます――



ほり あゆ美さん

昭和62年生まれ 岐阜経済大学経済学部卒業

・出身高校 岐阜県立大垣桜高等学校

14歳
中学校の職場体験のとき、職員さんの姿に憧れ、福祉の道へ。

21歳
大学を卒業し、夢だった福祉の現場に就職。日々勉強。

30歳
地域の誰かのために。充実した日々を送っています。



